

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 4月 12日

事業所名 さんキッズプラス

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			玩具等はコンパクトに収納し、床面のスペースを広く確保できるよう努めています。	
	2 職員の配置数は適切である	○			配置基準にプラス1名の配置を心掛けています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			事業所内に段差はなく、バリアフリー化されています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的にスタッフミーティングを実施、目標設定と振り返りを行い、業務改善に努めています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		現在は行っていません。今後必要に応じて検討します。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			年間を通じて研修計画を策定し、必要に応じて外部講師を招いています。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			職員間でカンファレンスを行い、アセスメントから子どもの課題、保護者のニーズ等を分析して作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			標準化されたツールの他、事業所で策定したツールも利用してアセスメントを行っています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			活動プログラムは職員間で相談し、決定しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			固定化が必要な活動もあるので、その点も考慮しながら、日々工夫してプログラムを考えています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			過ごす時間の長さによって活動内容を変えたり、工夫しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			開始前にミーティングを行い、その日の活動について確認しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終了後にミーティングを行い、その日の振り返りを行っています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			日々の記録は、定期的にミーティングで共有し、支援の改善につなげています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリングは定期的に行い、ミーティングで見直しの必要性を検討しています。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			ガイドラインに基づき、様々な活動を提供しています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			そのお子様の状況に精通した担当職員が出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			下校時間の一覧表をいただいて、確認するなど、適切に連絡調整しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			該当するお子様はいませんが、連絡体制は整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○			必要に応じて適宜行っていますが、保護者を通じて情報共有を行っているケースもあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○			該当するお子様はいませんが、情報を提供する体制は整えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			必要に応じて適宜行っていますが、今後より積極的な連携、研修の参加に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		児童クラブ等との交流機会は現在はありません。今後要望があれば検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○			可能な限り参加していますが、今後より積極的に参加できるよう努めます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○				連絡帳、送迎時のやりとりや、個人面談で共通理解を図っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				相談を受けた際に、個別に対応させて頂いています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			十分時間をとり、丁寧な説明を心がけています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談を受けた際は、個別に必要な対応をさせて頂いています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		現在は行っていません。保護者のご希望をお聞きし、今後検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				苦情窓口については、契約時に説明させて頂き、苦情があった場合は迅速に対応できる体制を整えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				ホームページで発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	○				個人情報は、鍵付きのロッカーに保管し、職員は、個人情報保護についての研修への参加を必須としています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				カードを利用し、視覚支援を行うなど、特性に応じた配慮をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		現在は行っていません。今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルについては、定期的に職員研修を実施し、知識・技術の向上に努め、訓練も実施しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練を定期的に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止の研修を毎年開催し、職員の参加を必須としています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現在は該当者がいませんが、身体拘束についての職員間の周知、研修は行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			契約時にアレルギーの有無と対応方法について確認しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ミーティングの際に、ヒヤリハットの内容確認と、検討を行っています。	